

真実を伝える 組合機関紙

か い な

JMITU(日本金属製造
情報通信労働組合)
日本アイビーエム支部

東京都港区赤坂2丁目20の6
5F 〒107-0052
TEL: 03-3583-9037
FAX: 03-5562-0853

定価 月 500円



今春闘では組合要求がなければ両社の2025年の賃上げそのものがなかったかもしれないが、3次にわたるストライキを決行した組合の強い要求によって、両社は25年の賃上げ実施日の回答、組合員の賃上げ回答を行いました。しかし、両社の全従業員平均賃上げ率は回答が未だに分かりません。

組合員平均賃上げ率は24年の組合員平均賃上げ率は日本IBMが1.1%

組合は、引き続き両社に賃上げの上積み回答を要求します。日本IBMには25年の賃上げの上積み回答と、少ない1回分の賃上げを25年に実施することを要求、キンドリルジャパンには少ない1回分の賃上げを25年に実施することを要求します。

今25春闘は、4月9日の3次ストライキの後、日本IBM、キンドリルジャパンから組合員の賃上げ回答がありました。日本IBMは、春闘要求への3月5日回答で25年の給与調整の詳細は現在検討中のため、現時点でお伝えできる内容はあ

りませんと回答、3月12日の団体交渉では25年は5月1日付で給与調整を実施する予定で回答した。ただで進展なしでした。4月3日の団体交渉でも進展なしでしたが、5月26日に組合員の7月1日付賃上げ回答を行いました。

そこで組合は平均賃上げ率を推定していますが、25年の組合員平均賃上げ率は日本IBMが1.0%、キンドリルジャパンが3.2%で、今春闘の10%の賃上げ要求にはほど遠い水準です。

組合は、引き続き両社に賃上げの上積み回答を要求します。日本IBMには25年の賃上げの上積み回答と、少ない1回分の賃上げを25年に実施することを要求、キンドリルジャパンには少ない1回分の賃上げを25年に実施することを要求します。

5月28日4次スト決行 日本IBM、キンドリルジャパンは 賃上げの上積み回答をせよ



原水爆禁止2025年世界大会

被爆者とともに、
核兵器のない平和で公正な世界を
——人類と地球の未来のために

- 広島
3-1 国際会議 (7日10:00-18:00, 8日10:00-12:00)
1 "被爆80年 広島をつどい ー被爆体験の継承と未来"
5-6 原水爆禁止世界大会ー広島
7 フォーラム、分科会
8 被爆80年ヒロシマデー集会
- 長崎
7 "被爆80年 長崎をつどい ー被爆体験の継承と未来"
8-9 原水爆禁止世界大会ー長崎
8 フォーラム、分科会
9 被爆80年ナガサキデー集会



裁判・労働委員会スケジュール

以下に今後のスケジュールをお知らせします。

定年後再雇用不当労行為事件	6/26(木)10:30	中央労働委員会会議室
定年後再雇用賃金差別裁判	3/18日(火)	に和解が成立しました。

労働組合とは徒党を組んで何やらやっているくらいか、の思っていたが加入してたら組合執行部は労働者を救済する活動に多忙を極め、まさに正義の塊であることに驚嘆した▼私の後に入ってきた組合員も救済された。「今までも一人で苦労してやってきたのに、入って見たらなんでこんなに多くの弁護士がいるのか。早く入れば楽だった」と言う組合員は裁判の和解で賃金減額が取り消された。「パワハラで苦しんでいた時すぐに加入しなかったのは、組合は本当に助けてくれるかわらなかつたからだ」と言う組合員は裁判の和解でパワハラ降格が取り消された。びくびく震えながら組合にパワハラ相談をしていた組合員は裁判の和解で賃金減額もやんだ▼退職勧奨・パワハラはすぐに組合に相談あるのみ。(HM)



1面で紹介した日本IBM箱崎事業所前でのストライキ行動を含め、5月28日、全労連と東京地評の呼びかけにより、「5・28争議支援総行動」が都内各所で次のスローガンのもと、力強く展開されました。

・すべての争議の早期全

面解決を！
 ・裁判所、労働委員会、人事院は公正な判断をおこなえ！
 ・不合理な解雇・雇止めをなくそう！
 ・憲法を職場とくらしに活かそう！
 行動参加者は早朝から4つのコースに分かれて

この日の争議支援総行動の先陣を切る形で、朝一番にノバ・バイオメディカル本社前行動が実施されました。関係する組合をはじめ、駆けつけた仲間たちが横断幕を掲げ、会社に対し、労働者の正当な要求を力強く訴えました。

行動では、複数の組合代表が次々にマイクを握り「労働者の声を軽視した経営姿勢は許されない」「誠実な団体交渉と争議解決に向けた対応を求め

組合なんでも相談窓口				
会社名	事業所名	職場名	氏名	電話番号
IBM	箱崎	I S E L	大岡 義久	090-5243-3082
Kyndryl	六本木	サービスエクセレンス	笹目 芳太郎	080-5915-6329
IBM	大阪	T L S	河本 公彦	080-5915-5204
IBM	箱崎	テクノロジー事業部	大場 伸子	080-6706-4650
事務所連絡先	TEL 03-3583-9037 (月水金 13-16時・除休日) FAX 03-5562-0853 メール: kumiai@jmitu-ibm.org WEB: https://www.jmitu-ibm.org/			
注) 上記窓口は事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ				
法律相談	労働問題・民事一般相談受付(要予約)			
東京法律事務所	弁護士 水口洋介、今泉義竜、本田伊孝 http://tokyolaw.gr.jp/ 東京都新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル TEL 03-3355-0611(代)			
旬報法律事務所	弁護士 大熊政一、山内一浩、並木陽介 http://junpo.org/ 東京都千代田区有楽町1-6-8松井ビル 受付7F TEL 03-3380-5311(代)			
桜木町法律事務所	弁護士 岡田 尚 横浜市中区山下町207-2 関内JSビル6階 TEL 045-212-1503			
ほづみ法律事務所	弁護士 穂積匡史 http://hozumi-shinyuri.jp/ TEL 044-959-3550 川崎市麻生区上麻生1-6-1 かわしん新百合ヶ丘ビル305号			

本社前

「人解決を！」
 ・裁判所、労働委員会、人事院は公正な判断をおこなえ！
 ・不合理な解雇・雇止めをなくそう！
 ・憲法を職場とくらしに活かそう！
 行動参加者は早朝から4つのコースに分かれて

この日の争議支援総行動の先陣を切る形で、朝一番にノバ・バイオメディカル本社前行動が実施されました。関係する組合をはじめ、駆けつけた仲間たちが横断幕を掲げ、会社に対し、労働者の正当な要求を力強く訴えました。

行動では、複数の組合代表が次々にマイクを握り「労働者の声を軽視した経営姿勢は許されない」「誠実な団体交渉と争議解決に向けた対応を求め

組合なんでも相談窓口

事務所連絡先

注) 上記窓口は事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ

法律相談

労働問題・民事一般相談受付(要予約)

東京法律事務所

旬報法律事務所

桜木町法律事務所

ほづみ法律事務所

24年ぶりのベースアップを実現した 宇野沢組鉄工所支部のたたかい (連載②)

前号に引き続き宇野沢組鉄工所支部のたたかいを報告します。

24秋闘で、秋闘要求に合わせて、改めてベースアップを行わないことに固執し続ける会社に対して「公開質問及び要求書」を提出しました。「方針」の撤回とベースアップ実施を要求し、物価上昇率、従業員的生活悪化、製造部門の累積赤字17億円解消までどのくらいの年月を要すると試算しているのか、今後赤字が出た場合これを累積赤字に加える考えか、また、この間の一時金の妥当性を質問。さらに組合への説明の言葉を覆す行為に対し、誠実に欠ける姿勢と考えるか否か、また秋闘回答を毎回文書にて求めているにも拘わらず口頭で済ませる理由と改善を要求しました。

会社は、総務省が発表している物価上昇率を示しながら、従業員的生活悪化については直接回答せず、製造業の中小企業としては一般的水準で、「生活はできると考える」、「初任給の引き上げも実施している」と回答。「方針」の撤回は拒否。この間の利益から累積解消には約11年との試算を回答。製造部門の利益改善は賞与に反映。今後の赤字も累積加算すると回答しました。ベースアップをしない理由を次々に翻す姿勢には言及することなく、文書回答も「回答者である会社が判断」としました。ただし公開質問や秋闘には文書にて回答してきました。24年末一時金も夏に続き2、3カ月が維持されました。残るはベースアップ実現です。

「方針」を撤回せず、

組鉄工所支部の対策を担当している私と有馬事務局長は、「これは化けるかもしれない」と考え、支部に提案することに決めました。

シール投票で要求の多数派であることを可視化しよう。支部の受け止めは、「組合の垣根を越えて投票してくれるかな」と疑心暗鬼などところもありましたが、とにかくやってみようということになり準備が始まりました。大量のシールをどこで買うか、投票呼びかけのビラ、シールを貼り付ける投票板の準備、正門と裏門、そして自転車・バイク置き場の三か所で行く実施する為の手に配など、組合内で役割分担を行い2月14日(金)の実施を決めました。

南部地協25春闘闘争本部会議で他支部からの参加を呼びかけ、雨が降らないことを祈りつつ当日を迎えました。

当日は支部6人と南部地協4人(大田地域支部、日本IBM支部、ISB

支部)の10名が3か所に分かれて呼びかけを開始。支部の若手には良い経験となりました。

最初は遠慮がちに声をかけていましたが、出勤してくる従組のなかに肩をたたかれ「苦勞さん、頑張れよ」と励まされたり、会社方針に「反対、反対、絶対反対」と叫びながら投票してくるなどなにかまの反応は想像以上にあたたかく、終盤には追いつけながら呼びかけるなど自信が湧く行動となりました。

組合員対象者が130名弱で、投票結果は当日90票が集まり89名が会社方針に反対、加えて、投票できなかったなかまから「自分も投票させてほしい」と支部組合員に声が掛かり、予定外でしたが食堂に投票板を設置し、さらに6票を集め、最終的に94票の反対票が集まりました。

組合は、25春闘の要求団交で「会社方針に反対」が職場労働者の総意であることを会社に伝えまし

た。

回答日が3月5日(水)から会社の都合で6日(木)の午後に変更されました。当日はJMITU第一次統一行動日南部地協リレーストライキで宇野沢組鉄工所支部も16時15分からストライキを決定する予定でした。しかし冒頭で述べた通り、24年ぶりのベースアップ回答が示され、かつ32年ぶりの5ケタの回答を得てストライキを中止しました。

回答は異常な物価高騰による実質賃金低下を止めるには十分ではありません。労使の切磋琢磨は今後も必要ですが、ベースアップが実施され一時金が是正されてきた事実は、会社で働き続ける将来展望を持つことができると大きな一歩です。

この実績と経験を活かし、組合員を増やし組織建設を進め、さらなる要求実現の足掛かりをつくるために支部とタッグを組んで奮闘することを決意し、たたかいは報告とします。